

資料 3

環境影響評価調査について

1. 環境影響評価調査スケジュール

<平成26年度>

日付	曜日	内容
H26. 10. 1～ H26. 10. 30	(水) (木)	計画段階環境配慮書の案 公告縦覧
H26. 11. 6 まで	(木)	同上意見書提出期限
H26. 12. 19	(金)	計画段階環境配慮書 送付 (愛知県、関係市町 (半田市、碧南市、武豊町))
H26. 12. 19 ～ H27. 1. 22	(金) (木)	計画段階環境配慮書 公告縦覧 (半田市、碧南市、常滑市、南知多町、美浜町及び武豊町)
H27. 1. 7	(水)	愛知県環境影響評価審査会及び現地確認
H27. 1. 19 まで	(月)	関係市町長 (半田市、碧南市、武豊町) 意見徴収 (愛知県より依頼)
H27. 1. 30	(金)	愛知県環境影響評価審査会 知多南部ごみ処理施設部会
H27. 2. 23	(月)	愛知県環境影響評価審査会 知多南部ごみ処理施設部会
H27. 3. 3	(火)	愛知県環境影響評価審査会 (最終)
H27. 3. 19 まで	(木)	愛知県知事意見

※配慮書での知事意見は、方法書以降の手續時に勘案されます。

<今後の予定>

H27. 7 ～ H27. 8	方法書公告縦覧、説明会
H27. 12	知事意見、方法書手續き完了
H28. 1 ～ H28. 12	現地調査
H29. 6	準備書公告縦覧、説明会
H30. 3	評価書公告縦覧 環境影響評価手續き完了

2. 計画段階環境配慮書の内容

計画段階環境配慮書は、位置や規模など複数案について、重大な環境影響を回避し、または低減するため、既存資料などを用いて環境保全のために配慮する必要がある事項を検討するものである。

知多南部広域ごみ処理施設整備事業（仮称）においては、複数案として、煙突の高さの2案（59m、80m）と施設の配置の2案（東寄り、西寄り）の合計4案を設定した。

重大な環境影響を及ぼす事項としては、大気質と景観の2事項を選定している。

総合評価は、大気質に関しては4案のいずれも環境基準値を下回っており、環境への影響の違いはないと考えられ、また、景観への影響は煙突高59m、東寄りの配置が他の案に比べ最も小さくなっている。

よって、今後、事業者である組合としては、煙突高は59m、配置は東寄りの案で方法書以降の手続きを進めていきたいと考えています。

3. 環境影響評価審査会での指摘事項及び事業者の考え方

1月7日に開催された「環境影響評価審査会」での指摘事項及び事業者の考え方は、別紙2のとおりです。

4. 計画段階環境配慮書の縦覧状況

- ・縦覧期間：平成26年12月19日（金）～1月22日（木）
（半田市市民経済部環境課は、平成27年1月5日（月）～1月22日（木））

（1）縦覧状況

縦覧場所		縦覧者数
武豊町	厚生部環境課	2
半田市	市民経済部クリーンセンター	0
	市民経済部環境課	0
碧南市	経済環境部環境課	0
常滑市	環境経済部生活環境課	0
南知多町	厚生部環境課	0
美浜町	経済環境部環境保全課	0
合 計		2

※配慮書では、意見書の提出は求めています。

※配慮書の案での縦覧状況は、配慮書の要約書6ページ、本編185ページ、また意見の概要及び見解については、本編186ページ以降に記載されています。

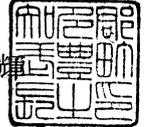
知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広
域環境組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環
境配慮書に関する関係市町長意見

（武豊町長意見、半田市長意見、碧南市長意見）

武環収第163号
平成27年1月13日

愛知県知事 大村 秀章 様

武豊町長 舩山 芳輝



知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境組合
広域ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書について（回答）

平成26年12月22日付け26環活第222-3号で照会のありましたこのことにつきまして、意見はありません。

担当：厚生部環境課
電話：0569-72-1111（内線353）
FAX：0569-72-1326



26半クリ第674号
平成27年1月15日

愛知県知事殿

半田市長 榎原純夫



知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境
組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書につ
いて（回答）

平成26年12月22日付け26環活第222-3号で照会のありました
このことについて、意見はありません。

担 当 市民経済部クリーンセンター
電 話 0569-23-3567
F A X 0569-21-6405
メー ル clean-c@city.handa.lg.jp

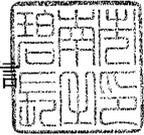


26碧環第405号

平成27年1月5日

愛知県知事殿

碧南市長 禰宜田 政信



知多都市計画ごみ処理場（一般廃棄物処理施設）知多南部広域環境組合ごみ処理施設（仮称）整備事業に係る計画段階環境配慮書について
（回答）

平成26年12月22日付け26環活第222-3号で照会のありました
みだしの件につきましては、下記のとおり回答します。

記

- 1 生活環境を損なうことがないように、十分な配慮をすること。

以上

連絡先 碧南市経済環境部環境課ごみ減量係 水野
〒447-8601 碧南市松本町28番地
電話 0566-41-3311（内線392）
Fax 0566-48-29640
E-mail kankyoka@city.hekinan.lg.jp



環境影響評価審査会（平成 27 年 1 月 7 日）における指摘事項

番号	指 摘 事 項	都 市 計 画 決 定 権 者 ・ 事 業 者 の 考 え 方
1	事業実施想定区域の位置について、武豊町地内の区域を事業実施想定区域に選定した考え方はどうか。	<p>当初、半田市クリーンセンター敷地内を建設予定地として、ごみ処理施設の環境影響評価の手続きを実施していました。</p> <p>しかし、当該建設予定地が最終処分場跡地（旧法処分場跡地）であったため、平成 23 年 9 月、廃棄物層保有水の一部から一般廃棄物最終処分場に適用される廃止基準値を超えるダイオキシン類等が検出されたことから、その対策工事を実施する必要性が生じ、対策工事には、多額の費用と時間が必要となることが判明しました。</p> <p>そのため、供用開始時期を 5 年間延伸（検討期間 1.5 年、対策工事 2.5 年、アセス再調査 1 年）し、平成 34 年 4 月としました。さらに、代替候補地が存在するのか、2 市 3 町で改めて検討することとしました。</p> <p>この代替候補地の選出条件としては、平成 34 年 4 月に供用開始できるよう、平成 25 年度中に地権者・地元合意を得ることが明らかに困難な土地及び法規制を受ける土地を除くこととしました。</p> <p>その結果、半田市の建設予定地と代替候補地 3 箇所（常滑市地内、武豊町地内及び南知多町地内）について、土地利用環境面、用地買収面及び経済面から比較検討しました（別紙参照）。</p> <p>その結果、構成市町 2 市 3 町の首長の合意により、武豊町地内の区域のみが代替地になりうるとして、武豊町地内の区域を事業実施想定区域に選定しました。</p>

番号	指 摘 事 項	都 市 計 画 決 定 権 者 ・ 事 業 者 の 考 え 方														
2	事業の規模について、処理能力を 283t/日に決定した考え方はどうか。	<p>事業の規模（処理能力）は、上位計画である「知多南部地域循環型社会形成推進地域計画第二期（平成 25 年 12 月一部変更）」において 283t/日と設定しています。</p> <p>この 283t/日は、同計画の最終年度（平成 29 年度）の年間処理量（76,286t/年）を、実稼働率等で除して算出しました。</p> <p>年間処理量の推移は下表のとおり減少傾向にあります。</p> <div data-bbox="938 427 1921 911" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>年間ごみ処理量の推移 (t/年)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>年間ごみ処理量 (t/年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>90,000</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>88,000</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>86,000</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>84,000</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>82,000</td> </tr> <tr> <td>H29(推計)</td> <td>76,286</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>なお、年間処理量は、生活系ごみ量、事業系ごみ量及び脱水汚泥量の合計です。このうち、①生活系ごみ量は、構成市町ごとに過去の処理量の推移の動向やごみ減量化目標値を勘案して設定したごみ処理原単位と将来推計人口を乗じて算定しました。②事業系ごみ量は、過去の処理量の推移の動向から算定しました。③脱水汚泥量は、し尿処理施設の将来脱水汚泥量を採用しました。</p> <p>次年度以降、最新のデータ等により、事業の規模の見直しや検討を行い、その結果は、今後のアセス図書に反映したいと考えています。</p>	年度	年間ごみ処理量 (t/年)	H20	90,000	H21	88,000	H22	86,000	H23	84,000	H24	82,000	H29(推計)	76,286
年度	年間ごみ処理量 (t/年)															
H20	90,000															
H21	88,000															
H22	86,000															
H23	84,000															
H24	82,000															
H29(推計)	76,286															
3	施設が安全に建設できるか、事業実施想定区域の周辺埋立地の地盤調査結果があるとよい。	<p>今後、施設の建設に当たっては、詳細な地盤調査を行い、安全な構造となるよう設計・施工してまいります。</p>														